

環境活動報告書

2015年度版



目 次

● ごあいさつ	2
● 環境理念と行動規範	3
● 環境方針	4
● 環境マネジメントシステム	5
● 環境マネジメントの取り組み	6
● 店舗事業の電力使用量削減結果について.....	7
● 店舗事業の電気使用量削減結果	8
● 燃料使用量削減の取り組みと結果報告	9
● 地球温暖化防止の取り組み	10
● 環境法規の遵守状況	11
● 環境基金委員会報告(各種リサイクルの収益と使途に関する報告)	12
● 15年度 第11回理事会資料(15年度 環境監査報告書)	13~14
● リサイクル報告(2015年度回収量の報告)	15
● 環境活動トピックス	16
○ 家庭の省エネ節電セミナーを開催しました	17
○ 「家庭の省エネ・電力量計測」を実施しました.....	18
○ 親子体験スクール in 清川体験農場	19
● 店舗事業の電気使用量削減レポート	20
● 太陽光発電レポート	21



今年もこの時期が来ました。コープおおいたの全てのステークホルダーのみなさまへ、「1年間どのような取り組みを行なってきたのか」「どんな成果を残すことができたのか」についてご報告をさせていただきます。内部の環境マネジメントシステムに沿った組織としての社会的責任を果たす取り組みは、継続できたと思っております。この機会に多くのみなさまと一緒にその取り組み内容と向こう1年間に取り組もうとしている環境方針の内容について共有したいと思います。



専務理事 江藤 隆康

さて、2015年末にパリで開催された「COP21」では、画期的な国際合意が図られたという評価を受けています。先進国と途上国の間の温度差がなかなか埋まらないここ数年だったように思いますし、実質的な排出量ゼロへ向け世界全体の気候変動対策を、今後継続的に強化し続けていく方向が明確に示されたという意味で少し前に行き初めたかなという印象です。世界の動きの中で、わたしたちコープおおいたのローカルな取り組みそのものは小さな位置ではありますが、それぞれがその責任を果たすことの積み重ねが、わが国トータルの成果になると思えばそれなりに重い意味を持つことになります。今年度もコープおおいたでは、各事業所ですすめるCO₂排出量削減の自主行動計画に基づく個々の取り組みを継続して推進していく予定です。

昨年の総代会では、剰余金処分案の中で「環境基金積立金」を目的積立金として計上させていただきました。いずれは、地域社会で環境活動に取り組む個人・団体への助成等で役立ちたいという目標を持って基金を別途積んできました。資金を拠出すること自体は難しいことではありませんが、環境の取り組みから生まれたものを、また環境の取り組みに循環させていくことに意味を持たせています。この基金活用元年となった2015年度は、これまで実施できてなかった領域の活動に少し足を踏み出すことができました。その内容は別途報告をご覧いただきたいと思います。少なくともこれまでは接点さえ持てなかった個人・団体のみなさまとも思いを共有できる機会に恵まれるようになったことに、あらためて喜びを感じています。まだまだ歩み始めたばかりの活動ですが、1年1年その幅を広げられるように取り組んでいきたいと思っています。

おわりになりますが、組合員数が15万人を超えました。県内最大の消費者組織としての社会的責任を果たしながら、今年度も積極的な環境活動を推進していきます。

この環境活動報告書は、組合員や役職員、お取引先のみなさまだけに限らず、多くの関係先のみなさまにコープおおいたの取り組みをお知らせするという組織的責任を果たすべく作成しております。ご一読いただき、叱咤激励も含めて忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

今後とも引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

環境理念と行動規範



生活協同組合コープおおいたは、事業者として求められる社会的責任を果たし、生活協同組合として地域社会におけるアクションリーダーとしての役割を果たしていくことを基本理念として掲げ、下記に上げる行動規範(考えたり、行動したりする時の基準)に沿って行動します。

◇責任性の視点

国や行政監督省庁の指針や指導・指摘事項に沿った責任を果たす姿勢

◇規律性の視点

関連法令、条例を遵守する姿勢

◇積極性の視点

地域社会の中で先頭に立って積極的に取り組む姿勢

◇先進性の視点

地域社会の中で未だ事例のない先進的な取り組みに果敢に取り組む姿勢

◇公開性の視点

行動計画、実際に取り組んだ行動や結果を内外に積極的に広報する姿勢責任性、規律性の視点は一事業者として求められる社会的責任を果たしていくコンプライアンス(法令遵守)の考え方です。厳しい事業環境下にあっても、社会的責任は果たしていく決意を表しています。

積極性、先進性の視点は、生活協同組合として地域社会におけるアクションリーダーとしての役割を果たしていくことを表しています。地域社会における消費者組織として要求事項を超えたと取り組みを行ない「生協に入ってよかった」、「生協のある町に住んでいてよかった」と評価していただける組織として在り続けたいとの願いを込めています。

公開性の視点は、時々の経営状況報告はもちろん、「環境保全活動に関わる要求事項に関する情報発信」、「それに伴う活動計画」、「活動した内容と評価について」、関わる全ての人々が、同じ目線で同じ理解をできている状態を作ることが必要だと考えます。内外広報の実施に関する誓約の意思と、コープおおいたの全てのステークホルダー(利害関係者)のみなさまへ、定期的に活動の報告をさせていただく決意を表明しています。



地域の中で、事業活動を行なう組織として求められる社会的責任を果たしていく上で、生活協同組合コープおおいたは、環境理念、行動規範に沿って以下に掲げる環境活動方針に沿って行動しています。

～生活協同組合コープおおいた 事業活動分野環境方針～

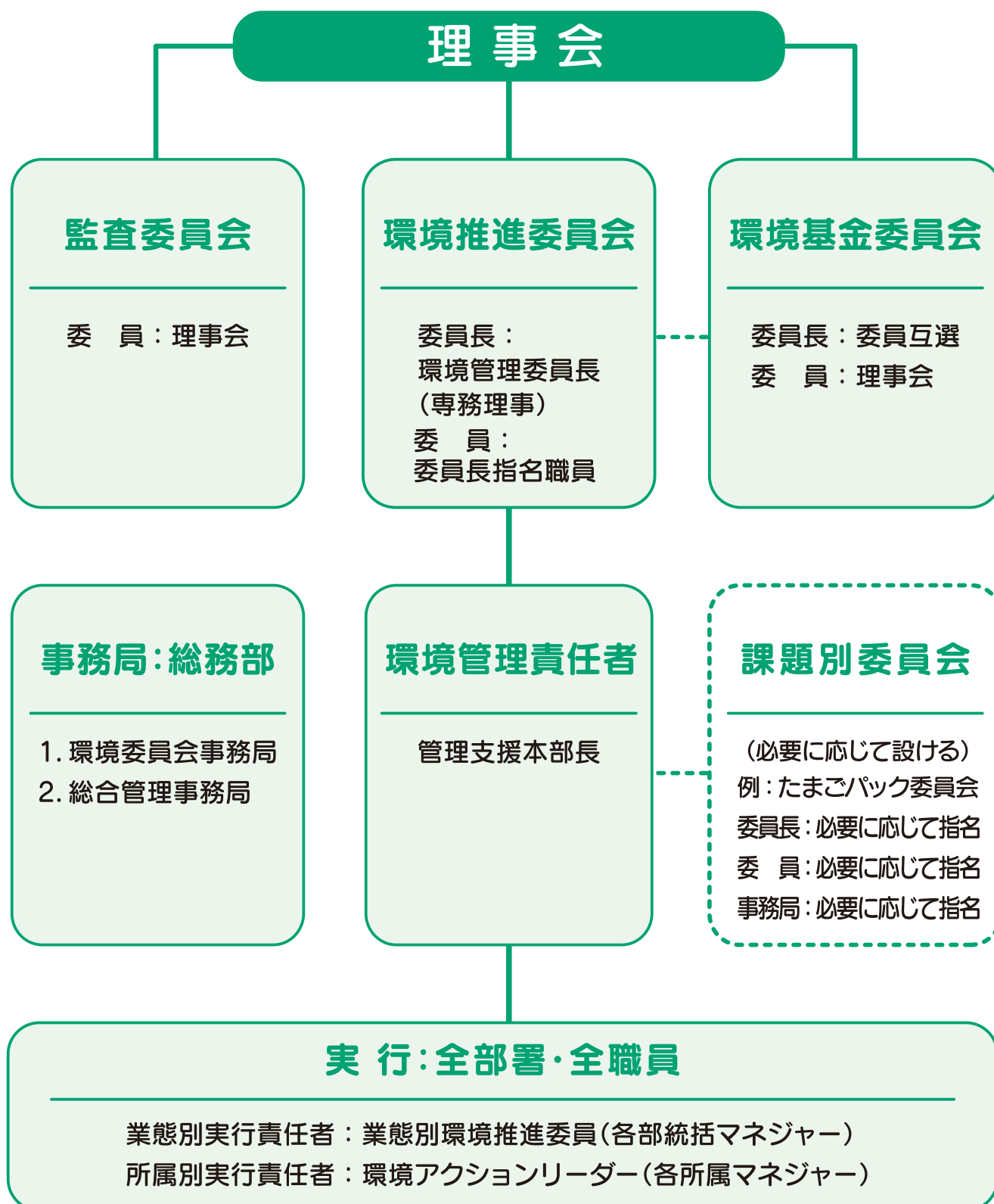
1. 生活協同組合コープおおいたは、環境問題を生協運動の根源的課題として位置づけ、その行なう事業活動、取り扱う商品、行なうサービスにより発生する環境影響の大きな項目について、環境に関わる法令、条例、受け入れを決めたその他の要求事項を遵守し、技術的、経済的に可能な範囲で、環境の保全活動を自ら設定し、率先して取り組みを実行します。
2. 設定した環境保全活動目標は、環境マネジメントシステムに従って確実に実行していき、定期的に検証と見直しを行ない、最善を尽くします。
3. 以下の事項を、環境保全活動の柱に置き、活動をしていきます。
 - ① 組合員および事業連合や取引先の方と協同して、産直商品やコープ商品を中心により環境負荷の少ない商品、安心・安全な商品づくりを進めながら、環境に配慮した商品のうち、年度毎に重点商品を設定し、普及します。
 - ② 各事業所におけるエネルギー（電力、ガス、車輛燃料など）使用効率を高めて、供給高1億円あたりのCO₂排出量を、定期的に実測把握・検証し、抑制します。
 - ③ 容器包装及び梱包材の削減と再資源化を推進します。
 - ④ 紙の使用量を削減します。
 - ⑤ エコドライブ（急発進、急加減速、急なハンドル操作をしないなど）を実践し、業務車輛の燃費向上とともに廃棄ガスに含まれる有害物質の排出を抑制します。
 - ⑥ 店舗の商品ロスなどの廃棄物削減と再資源化を推進します。
 - ⑦ 環境配慮型の施設作りを推進します。

以上の活動を進めるために、学習の場や会議などを通じて、すべての職員に対する教育・啓発を積極的に行ないます。この環境方針はコープおおいた内外に公表します。

環境マネジメントシステム



事業活動分野の環境活動計画の立案と実行、検証について以下の組織体制に基づき、環境管理委員長である専務理事直轄の環境委員会を中心に進めています。諸活動の検証は、内部環境監査委員会で、年に一度、活動の評価と改善指摘をいただいています。



環境マネジメントの取り組み



環境推進委員会報告

環境マネジメントシステムを実行するにあたり、核となる環境推進委員会を定期的を開催しました。

事業活動分野の推進指標を「供給高あたりのCO₂排出量」に設定しました。

この指標をもとに、「環境に配慮した事業活動」を行なうために、施策検討～実行～振り返り～新たな計画を進めて、2015年度は、供給高あたりのCO₂排出量削減に大きく寄与できました。

主な事項

- ① 事業所の電力量削減
- ② 燃費効率向上
- ③ 40m道路清掃活動
- ④ ペットボトルキャップリサイクル
- ⑤ カタログ袋・集品袋等の回収業者選定
- ⑥ (株)ファイナルゲートとの契約終了後の対策 他



～ 40m道路清掃活動の様子 ～

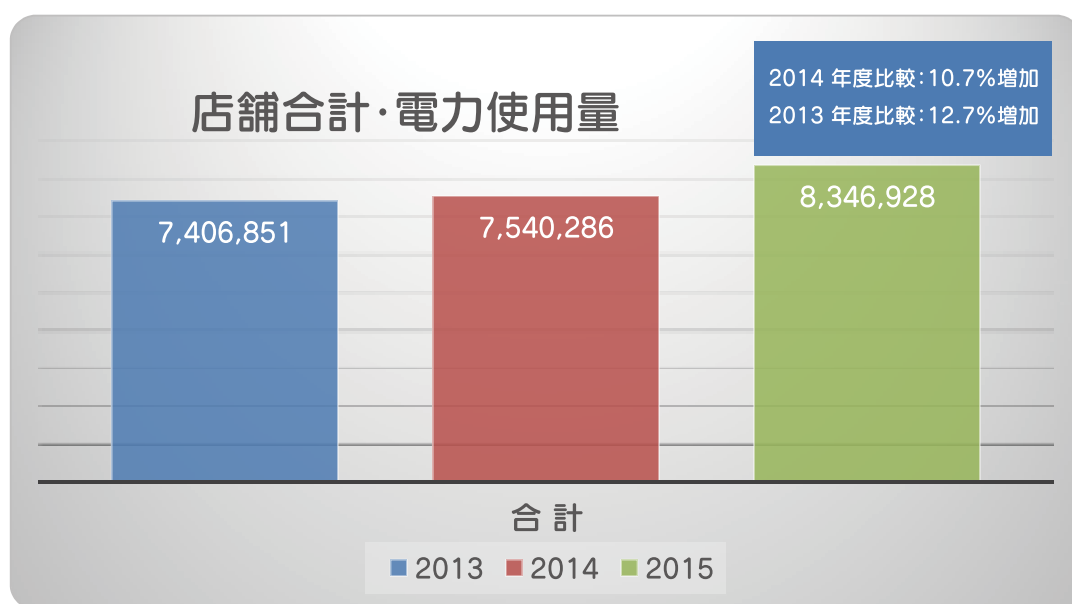


店舗事業の電力使用量削減結果について

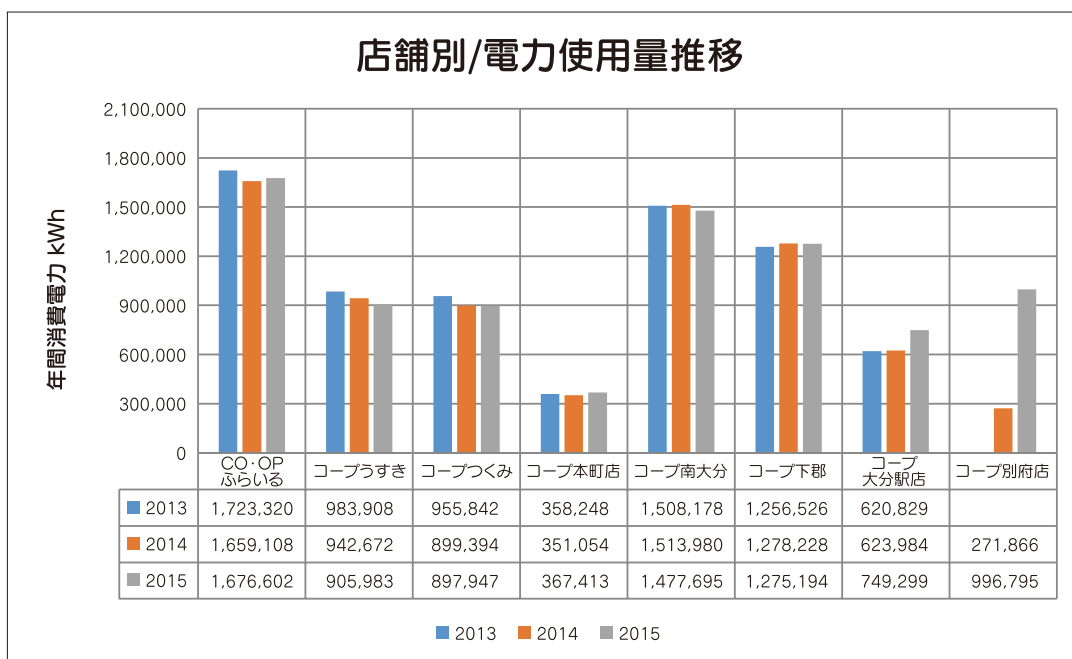


店舗別・電気使用量の推移

店舗の合計電力使用量3年間の比較です。これは、省エネ対策の悪化ではなく、コープ別府店の新設や来店客数アップで、使用量が増えてきていると考えられます。



店舗別では、2014 年度対比で、使用量が増加しているのは、「CO・OPふらいる」「コープ大分駅店」「コープ本町店」の3店です。全体的に供給高・来店客数とも増加する中で、省エネ対策が功を奏し、増加幅を低く抑えることが出来ました。

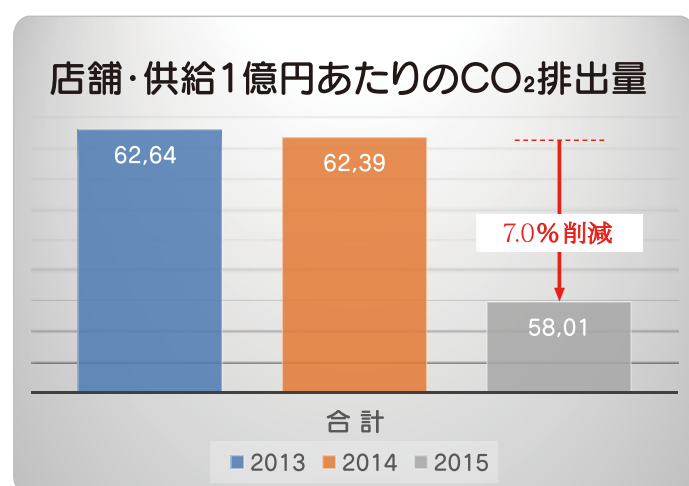
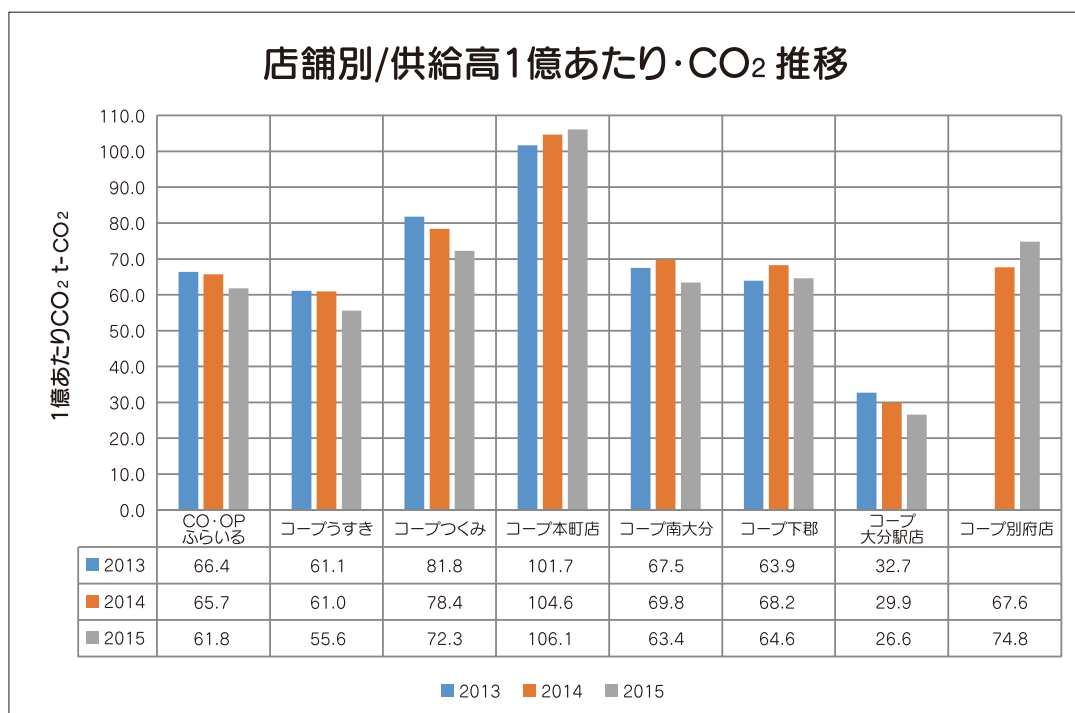


店舗事業の電気使用量削減結果



店舗別の供給高当たりのCO₂排出量の推移

コープおおいたの、地球温暖化対策指標として「供給高1億円あたりのCO₂排出量」の低減を自主活動計画にうたっています。



九州電力・CO₂ 排出係数

年 度	排出係数 (kg-CO ₂ /kwh)
2013	0.000599
2014	0.000617
2015	0.000598



コープ別府店、コープ本町店以外の店舗では、順調に推移しています。各店舗の地道な環境配慮行動と、供給の順調な推移の好循環です。

燃料使用量削減の取り組みと結果報告



宅配事業の配送分野を子会社(コープサービスおおいた)に移行を始めました。その関係で、「燃料使用量、車両台数」とも減ってきています。

削減取組みは、「車両1台あたりの燃料使用量」を指標に、推進してまいりました。

取組みの柱である「安全エコドライブ」については、配送を担当する職員や業務で運転する職員の学習と実践を強めてきました。また、「レコーディングダイエット」にならい、「燃費の記録」を行ない管理することで、削減効果が得られました。

結果、車両1台あたりの燃料使用量を12%削減(2014年度対比)できました。

	2013		2014		2015	
	実績	使用量/台	実績	使用量/台	実績	使用量/台
ガソリン(ℓ)	115,393	1,215	106,501	1,145	88,031	964
車両台数(台)	95		93		91	
対前年対比	93.7%	91.8%	92.3%	94.3%	82.7%	84.2%
軽油(ℓ)	268,649	2,608	273,432	2,420	201,597	2,320
車両台数	103		113		87	
対前年対比	114%	104%	102%	93%	74%	96%
合 計	384,042	1,940	379,933	1,844	289,628	1,625
車両台数	198		206		178	
対前年対比	107.2%	101.3%	98.9%	95.1%	76.2%	88.1%

事故を起こさないことを再徹底するために、「安全学習会」や「各事業所での日常チェック」など行なっています。

あわせて「エコドライブ(特にふんわりスタートと急加速しない運転)」をより徹底していくことで、CO₂排出量削減と無事故運転に努めていきます。



地球温暖化防止の取り組み



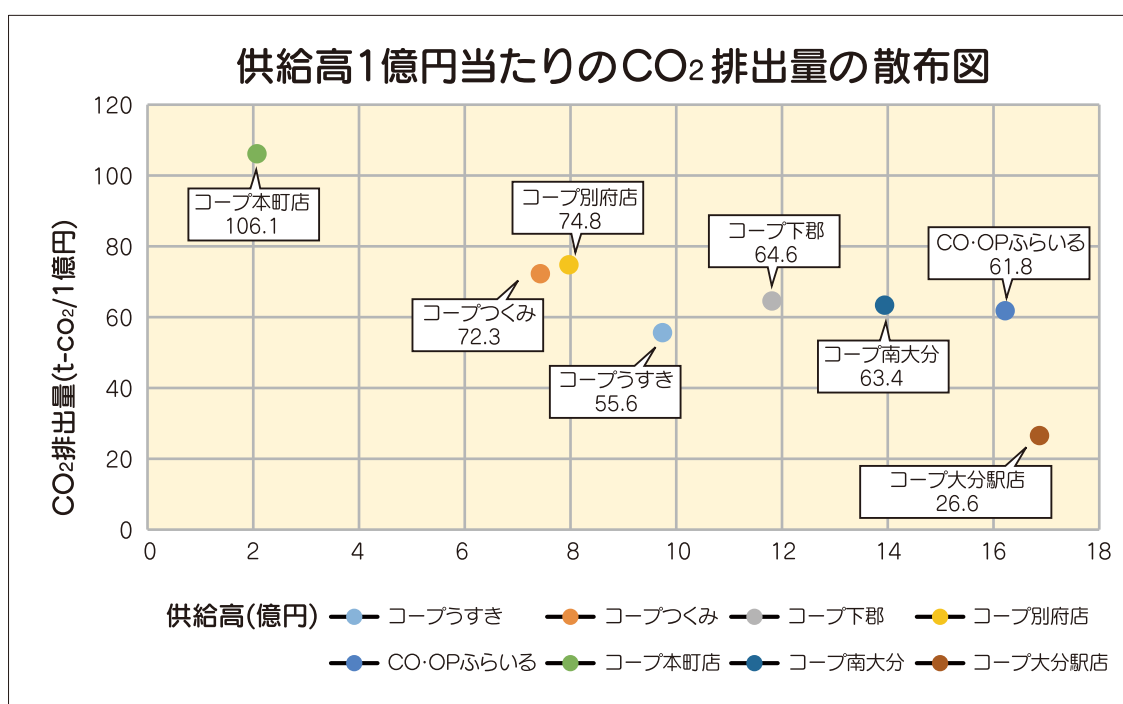
地球温暖化防止自主行動計画について

環境方針「各事業所におけるエネルギー（電力・ガス・車輛燃料など）使用の効率を高めて、供給高1億円あたりのCO₂排出量を定期的に実測把握・検証し、抑制します。」を重点におき、事業と環境の連動に取り組みました。

供給高1億円あたりのCO₂排出量に着目し、毎月開催の環境推進委員会で進捗状況の確認を行ないました。

◇2015年度

2015年度	使用量	単位	CO ₂ (t-co ₂)	供給高	供給高当りCO ₂
電力	9,636,452	kWh	5,763	182.48 (億円)	36.56 (t-co ₂)
ガソリン	94,832	ℓ	220		
軽油	220,943	ℓ	570		
灯油	9,506	ℓ	24		
ガス	14,580	m ³	95		
合計			6,672		
太陽光	551,204	kWh	330		
リサイクル	15ページ参照		229		
削減効果			559		
実質排出			6,113		33.50



環境法規の遵守状況



法規制は、環境マネジメントにおいて最も基本的な要素であり、その遵守に努めています。

関連する主な環境関連法規および規定は、次のとおりです。なお、2015年度において遵守事項は問題なく実施することができました。

法律・条例名	遵守事項	実施内容
消防法	防火管理者の設置	防火管理者の選任及び変更届を提出しました。 設置部署の定期点検を実施しました。
水質汚濁防止法	店舗の惣菜フライヤーの使用 済み油の措置	油の流出事故時の措置として管理手順を 関係者に教育実施しました。
浄化槽法	浄化槽の定期水質検査、保守 点検、清掃の実施	保守点検の定期実施と年1回の法定検 査を実施しました。
廃棄物の処理及び 清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	廃棄物の排出を抑制し、廃棄 物を適正に分別・保管・収集・ 運搬・再生・処分する。	産業廃棄物処理委託業者の許可証有効 期限を点検・確認しました。 マニフェスト(産業廃棄物管理票)発行を 確認し、行政への定期報告書を6月までに 提出しました。
食品リサイクル法	食品廃棄物の発生抑制を優 先し、「発生抑制」「再生利用」 「熱回収」「減量」を促進。 45%の再生利用を実施。	6店舗で排出の生ゴミの堆肥化を実施 し、リサイクル堆肥を使用した野菜の生 産と店舗での販売を行ないました。 行政への定期報告書を6月までに提出し ました。
容器包装 リサイクル法	容器包装廃棄物の排出の抑制、 分別収集および再商品化を 促進。	(財)日本容器包装リサイクル協会と再 商品化委託契約を結び再商品化義務を 履行しています。 行政への定期報告書を6月までに提出 しました。
エネルギーの使用の 合理化に関する法律 (省エネルギー法)	(工場等)特定事業者認定に よる定期報告書の提出。	経済産業局等へ定期報告書・中長期計 画書を7月までに提出しました。
	(輸送)特定輸送事業者認定に よる定期報告書の提出。	九州陸運局への定期報告書を6月までに 提出しました。

環境基金委員会報告(各種リサイクルの収益と使途に関する報告)



2009年度より各種リサイクル活動により生じる益金は、経営とは切り離して環境基金という名目で出納管理を行なっています。年度毎に組合員理事をメンバーにする環境基金委員会にて収益額を確認し、使途案を決めて常勤理事会に報告し決済することになっています。2015年度の環境基金の使途については、大分県への寄付以外に環境に関することに有効活用していくことを決め、地域で環境活動を熱心に行なっている団体・グループへの助成や、大分県保育連合会・大分県認可私立保育園協議会・大分県私立保育園連盟・大分県私立幼稚園連合会へ環境に関する絵本「もったいないばあさん」の贈呈、里山保全を積極的に行なっている大分大学への助成(永野准教授が中心となって学生さんたちとすすめている「分大いきいきビオトープ」(オオイタサンショウウオのビオトープ)を行ないました。



2015年度の環境基金の使途 主な事項

◇2015年度収益額

項 目	金 額	備 考
① レジ袋収入	1,235,454円	2015年5月8日 基金口座に入金
② カタログ収入	1,188,294円	諸整理費用を除く収益年額
総 計	2,423,748円	① + ②

◇使 途

項 目	金 額	備 考
① 大分県への寄付金	115,000円	
② タマゴバック他諸整理費用	226,016円	
③ 絵本「もったいないばあさん」 寄贈(県内幼稚園・保育園等)	498,971円	
④ 大分大学里山保全助成	200,000円	
⑤ コープおおいた環境基金 助成金(7団体)	1,250,000円	里山自然観察会
⑥ 広報費等	91,864円	
⑦ 次年度繰越金	41,897円	(9,012,573円)

15年度 第11回理事会 資料



環境監査委員 宮崎千恵子

環境監査委員 内屋すみ子

〈15年度 環境監査報告書〉

1. 環境監査方針

- ①引き紐等、エコ事業所の推進状況の確認
- ②電力使用量・使用料金の増加事業所の要因と対策提起
- ③(株)ファイナルゲートの省エネチューニング実施の把握

2. 監査事業所

(1)重点監査事業所

- ・二目川センター 畑中センター 5/14、8/31、3/29 計:3回

(2)通常監査事業所

- ・コープ下郡 省エネチューニング (2015. 5/14)
- ・青崎本部 フロン対策状況 保安担当ヒアリング (2015. 6/8)
- ・日田センター エコ事業推進状況 (2015. 10/5)
- ・三重センター 電力料金増加要因 (2015. 12/24)
- ・日出センター エコ事業推進状況 (2016. 2/15)

(3)(株)ファイナルゲート

- ・2015年度：中間報告書の確認 (2015. 11/26)
- ・2015年度：年間報告書の確認 (2016. 4/14)
- ※2014年度：年間報告書の確認 (2015. 5/15) ⇒「14年度環境報告書」に報告済み

(4)環境基金収支

- ・15年度：環境基金決算報告書の確認 (2016. 4/14)

3. 監査結果報告

(1)事業所監査

- ・事務室の電灯の引き紐運用がされていない事業所がある。
- ・便座に温度調節の張り紙をしている事業所もあるが、張り紙がない事業所がほとんど。



- ・ 倉庫内、事務所内の整理整頓が行き届いている。
- ・ STの消灯も実施されている。
- ・ 冷凍蓄冷剤用冷凍庫の修理を。(二目川C)
- ・ 遮光カーテンは夏だけにし、冬場は取り外し外光を取り入れ、室内電灯の消灯を。(三重C)
- ・ 事務所出入り口は“感知式電灯”の設置を。
- ・ プラットホーム外灯の清掃を。

(2)(株)ファイナルゲート

- ①15年度：実施例(冷ケース設定温度最適化、室外機周り環境改善、対流ファン稼働最適化、空調・冷設室外機高圧洗浄、冷凍ケース冷氣漏れ改善、凍結庫フィルタ清掃)
- ②事業所ごとの省エネ率
- ③15年度省エネ状況
- ④省エネ率推移

4. 所見

- ①引き続き、エコ事業所としての取り組みを強化してください。
 - ⇒「エコ事業所推進」ステッカーを掲示する等し、職場内、および、外部来所者へ周知してください。
 - ⇒トイレ便座の保温は、冬場だけとし、「便座保温期間」の案内ステッカーを掲示する等の対策を講じてください。
- ②電力使用料金が増えている事業所は、早急にその要因を探り、対策を施行してください。
 - ⇒ 冷蔵冷凍庫の入り口に、外気遮断カーテンの設置を検討してください。
 - ⇒ 全センターで、冷蔵冷凍庫のタイマー運用を徹底してください。
 - ⇒ 二目川センターの冷凍蓄冷剤・冷凍機の修理をしてください。
 - ⇒ 三重センターについては、前年の夏の電力使用量が増えてしまい、基本料金が上がっているようです。16年度は下がると思いますが、電気料金の推移は注視してください。
- ③(株)ファイナルゲートの省エネチューニングは一定の効果があるようです。来年度の新業者への引き継ぎは充分丁寧におこない、その新業者の実績推移を正確に把握し、効果が下がったときは、早急に対策を指示してください。
- ④きちんと「15年度：環境基金決算報告書」を作成し、環境基金の収支は適切に処理されていました。

以上

リサイクル報告(2015年度回収量の報告)



コープおおいた 環境活動

「一人ひとりの一歩は小さいけれど、みんなの力を合わせれば大きくなる」を合言葉に、2015年度も多くの組合員の皆さんにコープおおいたの様々な環境活動にご協力いただきました。



2015年度 回収量の報告

牛乳パックとカタログの回収量

約97万8,423kg
(前年比127.66%)



回収量の約7割がトイレペーパーやティッシュの実質の原料となります。コアノンロール130m(S)1個276gで換算。約248万1,507ロールが再生されました。立ち木(直径16cm・高さ8m)に換算すると1万9,568本に相当。



買い物袋再利用数

約682万2,780枚
(前年比140.73%)

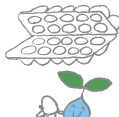
1枚5gで換算。枚数は持参者数×1.2で算出。マイバッグ持参者数568万5,650人(持参率88.58%)。レジ袋1枚に原油10ml(原料+製造エネルギー)が使用されています。



タマゴパックの回収量(共同購入・個配対象)

約2,318kg
(約11万5,900枚)(前年比94.30%)

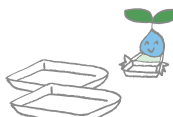
1パック約20g(1kgを50枚)として換算。タマゴパックとして再生されました。中にはリサイクル対象外の素材も含まれていましたが、それらはペレット化され繊維材料となりました。



プラスチックトレーの回収量(店舗のみ)

約2,758kg
(約5万5,516枚)(前年比70.28%)

枚数は1枚平均5gとして換算。トレー1枚あたりに原油2,400L(原料+製造するためのエネルギー)が使用されています。



集品袋・カタログセット袋回収量

約4,646kg
(約139万5,195枚)(前年比77.56%)

1枚平均3g(333枚/1kg)として換算。コープみみつきロールに換算すると7,155本に相当(回収重量を製品重量で単純に割算)。リサイクルポリ袋として再生されています。



廃油回収量(店舗のみ)

約5万5,047L
(前年比124.12%)

ドラム缶に換算すると、約275本分に相当。バイオディーゼル燃料として生まれ変わっています。※コープおおいたでは燃料として使用せず、廃油の回収のみ行なっています。



ペットボトルキャップの回収量

約2,900kg
(約116万個)(前年比112.62%)

回収したペットボトルキャップは、回収業者を通じてPET原料としてリサイクルされます。焼却すると9,145kgのCO₂が発生します。



※コープ大分駅店はテナント出店のため、リサイクル回収BOXの設置ができず対象外となります。また、廃油はコープ大分駅店、コープ別府店、コープ本町店、コープうすきでは回収を行っていません。ご了承ください。

	回収量	単位	係数	単位	t-CO ₂
牛乳パック・カタログ	978,423	kg	0.036500	co ₂ /t	35.71
レジ袋	6,822,780	枚	0.001167	kg/枚	7.96
タマゴパック	2,318	kg	2.632800	co ₂ /t	6.10
プラスチックトレー	1,758	kg	2.632800	co ₂ /t	4.63
製品袋・カタログセット	4,646	kg	2.632800	co ₂ /t	12.23
廃油回収	55,047	L	2.952800	co ₂ /t	162.54
ペットボトルキャップ					
合 計					229.17

環境活動トピックス



親子de エコライフゲームを開催しました

7月25日～8月22日の間に、県内8会場でエコライフゲームを開催し133名の組合員が参加しました。ボードゲームの定番「人生ゲーム」の「環境配慮行動学習ゲーム版」です。すごろくゲームの道中で、お金とエコポイント(マス目の環境配慮行動により付与される)を獲得していきながら環境への配慮を考える機会を作ります。夏休みを利用し、たくさんのおともたちが参加しました。

環境〇×クイズやエコライフゲームを通じて、「今日からできるCO₂削減行動」など環境配慮への理解を深め、一喜一憂しながらゴールを目指しました。地方大会(7会場)での上位入賞者を一堂に会し、大分駅前ホルトホールにて、大分県大会も開催されました。

夏休みの良き思い出に「親子参加の環境活動」で大いに盛り上がっていただくことが出来ました。

エコライフゲーム





家庭の省エネ節電セミナーを開催しました

7月25日～30日の間に、県内7会場でエコライフゲーム開催に合わせ、「家庭の省エネ節電セミナー」を開催し、31名の組合員が参加しました。

実際に組合員家庭で「家電の電力使用量計測」を実施した分析データを題材に、省エネ・節電のために、すぐに役立つヒントを学びました。

家電の使用実態を「見える化」することで、「つけっぱなし」の実態や家電ごとの使用量の大小に気づいてもらいました。

家電ごとの「省エネ手法」と「その効果を電気料金の削減額」で考えることで、「楽しみながら省エネ」「家族みんなで省エネ」を実行できることを学びました。

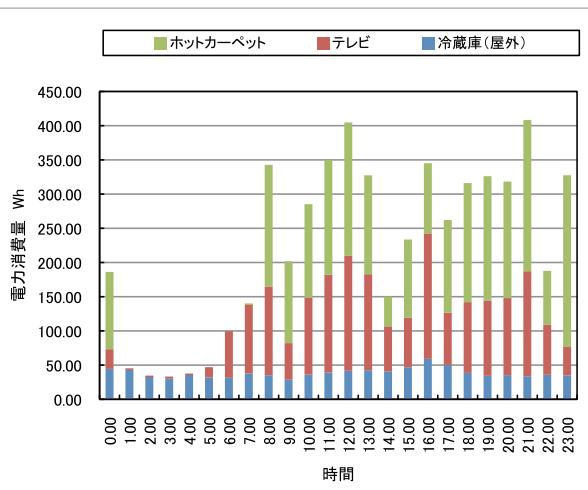


3つの家電の、1週間の計測で、時間平均をグラフ化。
つけっぱなし状態が目瞭然！

◆平均の総量、1日の推移

単位:Wh

		0.00	1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	6.00	7.00	8.00	9.00	10.00	11.00
AM	冷蔵庫(屋外)	43.33	33.67	30.17	36.17	32.00	31.50	37.83	35.14	28.71	36.17	39.17	41.67
	テレビ	2.00	1.00	3.17	1.50	15.00	68.00	101.33	129.83	53.43	112.60	142.75	168.00
	ホットカーペット	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	177.80	119.67	136.50	168.00	195.00
PM		12.00	13.00	14.00	15.00	16.00	17.00	18.00	19.00	20.00	21.00	22.00	23.00
	冷蔵庫(屋外)	41.67	42.50	40.50	46.83	59.17	50.17	38.67	34.33	35.33	33.67	35.83	35.00
	テレビ	168.00	140.40	66.20	72.75	183.33	76.50	103.40	110.17	112.67	153.60	73.00	41.50
	ホットカーペット	195.00	144.50	43.50	114.00	102.67	135.50	174.00	181.67	170.33	221.00	79.00	251.00



●実測期間(2/2 8:00～2/8 9:00)の使用電力の時間当たりの平均値です。

●テレビについては、夜中1時～朝6時以外は、ほぼ「つけっぱなし」状態ではないでしょうか？ながらテレビになっていらっしゃるのでは？もう少し、メリハリのある視聴を心がけましょう。(生活スタイルの見直しもあわせて、行いましょう)

●冷蔵庫については、通常、扉の開け閉めの頻度によって、上下していただくと考えられます。使用用途(頻度)が不明ですが、15～17時頃の時間帯に、ピークがあります。これは、もしかして、外気温の影響が大きいのではないかと推察します。

●ホットカーペットについては、朝食が終わった後から夜就寝直前まで、ほぼ「つけっぱなし状態」かもしれません。テレビの視聴頻度とリンクしていることが、よくわかりますね。(また、その使用電力は、決して小さくありません)



「家庭の省エネ・電力量計測」を実施しました

7組の組合員家庭の「家電電力使用量計測」を実施し、アドバイスレポートを発行しました。各家庭で、様々な「省エネの取組み」を行っておられますが、実際に「実態の見える化」を行うことで、より一層楽しく省エネを進めていけると、大好評でした。

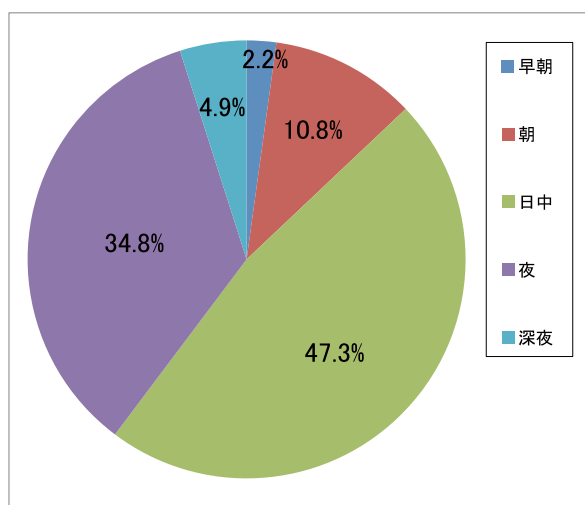
◆時間帯別の消費量割合

単位：時間

時間帯	早朝	朝	日中	夜	深夜
時間定義	3～5	6～8	9～17	18～23	24～2

単位：Wh

	早朝	朝	日中	夜	深夜	1日の合計
冷蔵庫	98.33	104.48	384.88	212.83	121.50	922.02
テレビ	19.67	299.17	1015.96	594.33	31.75	1960.88
ホットカーペット	0.00	178.80	1159.33	1077.00	113.00	2528.13
合計	118.00	582.44	2560.18	1884.17	266.25	5411.04
割合	2.2%	10.8%	47.3%	34.8%	4.9%	100.0%



【ライフスタイルと消費電力の関連】

・ご家庭のライフスタイルの振り返りに活用してみてください。

・特に「節電」という観点からは「昼間の電力消費を分散させる」ことにも気を配ってもらいたいと思います。

※全般的に言えることですが、「熱を発する、温める、沸かす、保温する」機能は、電力消費量が多いものです。

家庭の中の「電化製品」を見渡して、該当する機器の使用を皆さんで考えてみてください。



親子体験スクール in 清川体験農場

清川町での体験農場には、1年を通じて、春の部(4月11日～7月18日)、秋の部(9月5日～11月14日)で、総勢153名の組合員が参加しました。

清川ふるさと物産館の休耕地をお借りして、農業法人 夢ファームおおいたと協同して組合員が家族で農業体験を行なう体験農場の取り組みを継続しています。農場には店舗から排出される残さ(野菜のくず、魚のアラなど)を再生して堆肥にしたエコ堆肥を使用しており、循環型農業の実践にもつなげています。



水生生物観察会

7月18日～8月21日の間に県内5ヶ所で、水生生物観察会を開催し、238名の組合員が参加しました。

自然豊かな大分県のあちこちの河川や干潟、海や池などの水辺には多くの生き物が生息しています。親子水生生物観察会と題した企画を、各エリア委員会やコープ委員会が中心になって開催しています。



店舗事業の電気使用量削減レポート



(株)ファイナルゲート

① 空調・冷蔵室外機高圧洗浄

空調や冷凍・冷蔵ショーケースの室外機には、ごみ・ほこり・カルキ等が付着することにより、吸気効率が悪化し電力負荷が大きくなってしまいます。年2回のペースで、吸気効率の改善を目的に室外機の高圧洗浄を実施し、省エネを実現しました。



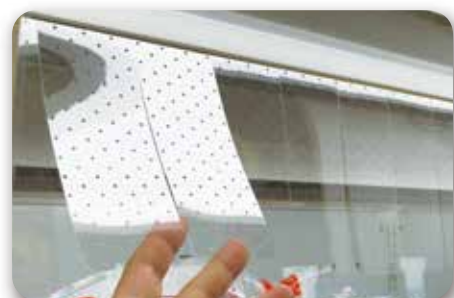
② 防露ヒーターの省エネ制御

店舗内の冷凍・冷蔵ショーケースには、結露防止のために防露ヒーターが内蔵されております。防露ヒーターは店舗の温度や湿度に関係無く、常時稼働しております。空気が乾燥している時期など、必要以上に防露ヒーターを稼働しており、最適な稼働へと調整する事で、大幅な省エネが可能となります。ショーケースへ制御装置を設置し、季節毎に最適な稼働へ調整し省エネを実現しました。



③ 冷蔵・冷凍ケースのエアカーテン整流化

店内の冷蔵、冷凍ケースにてエアカーテンの流れが乱れないように、のれん状のガイドを設置し、冷蔵ケースの冷気漏れを低減し、省エネを実施しております。



④ 空調・冷蔵室外機への散水噴霧対策

冷蔵庫や空調機の室外機の吸気温度が上昇して効率が低下しております。室外機熱交換部へ吸気温度の低減を目的とした噴霧装置や散水装置を設置し、大きな省エネ効果を得ました。



太陽光発電レポート



2013年6月にコープ下郡とコープ南大分の屋根に、再生可能エネルギーの普及として太陽光発電システムを設置しました。引き続き設置した「三重・宇佐・日出の各センター」の発電も順調に推移しています。

2015年1月から「コープ別府店」、2015年2月からは「コープうすき」の屋根に設置した太陽光パネルも発電を開始いたしました。

2016年4月から、一般家庭にも電力小売り自由化が始まります。

生協として、再生可能エネルギーによる発電という事業を通して、温暖化防止の一助となることを目指し、また、電力の供給可能性等も模索していきたいと考えています。



◇年間発電実績

単位: kWh

	2013年度	2014年度	2015年度
コープ南大分	155,936	204,030	204,426
コープ下郡	146,004	190,017	186,966
三重センター		52,450	52,559
宇佐センター		53,985	54,480
日出センター		49,643	52,773
コープ別府店		12,157	51,390
コープうすき		7,627	51,753
合 計		569,909	551,204



日出センター



宇佐センター



コープ別府店



コープうすき

メモ





環境活動報告書

発行: 2016年6月

お問合せ: 総務部 (☎097-524-0111)

ホームページアドレス <http://www.oita.coop>